



1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)横浜市鶴見区生麦三丁目新築工事	階数	地上11F
建設地	横浜市鶴見区生麦三丁目414-1外	構造	RC造
用途地域	商業地域、防火地域、準防火地域	平均居住人員	135 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	
竣工年	2023年11月 予定	評価の実施日	2021年5月19日
敷地面積	648 m ²	作成者	株式会社T設計工房
建築面積	303 m ²	確認日	2021年6月1日
延床面積	2,769 m ²	確認者	株式会社T設計工房



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.1

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

30%: ★★★★★ 60%: ★★★★★ 80%: ★★★★★ 100%: ★★★★★ 100%超: ★★★★★

①参照値 100%
②建築物の取組み 86%
③上記+②以外の 86%
④上記+ 86%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです。

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 3.0

Q1 室内環境

Q1のスコア= 3.5

Q2 サービス性能

Q2のスコア= 3.3

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア= 2.1

LR のスコア = 3.1

LR1 エネルギー

LR1のスコア= 3.2

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 3.2

LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 3.0

3 設計上の配慮事項		その他
総合 本計画地は大通りに面している為、周辺環境との調和や街並み形成に配慮すると共に住環境の向上に努めた計画としている。		0
Q1 室内環境 開口部の遮音性能を確保する計画とする。 建材は全面的にF☆☆☆☆のものを使用している。	Q2 サービス性能 室内の床にはシートフローリングを採用し、ほこりの溜りにくい設計としている。	Q3 室外環境(敷地内) 敷地内に緑地を極力配置し、潤いのある住環境の形成と周辺環境に配慮した計画としている。
LR1 エネルギー 複層ガラスの採用と、節水機能のある水栓を採用しエネルギーの消費削減に配慮した計画としている。	LR2 資源・マテリアル 躯体+軽鉄+仕上げ材と容易に分別が可能になっている。	LR3 敷地外環境 空調用室外機の排気が吸込側にショートサーキットしないような配置をし、地域環境へ配慮した計画としている。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される



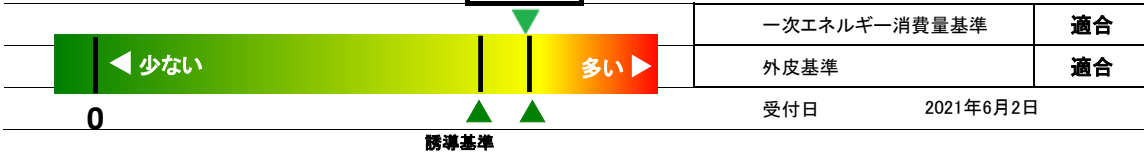
4 横浜市重点項目についての環境配慮概要 <集合住宅>

各項目について配慮した内容を、該当する番号(①~)を示し記述してください。 建物名称 (仮称)横浜市鶴見区生麦三丁目新築工事

建築物の省エネルギー性能 (E) Energy Saving 重点項目への取組(5点満点) 【省エネルギー性能】 **2**

■省エネルギー性能 (国土交通省告示に基づく表示)

この建物の設計一次エネルギー消費量 **0** %削減



■エネルギー対策 (①建物外皮の熱負荷抑制 ②自然エネルギー利用 ③設備システムの高効率化 ④効率的運用)

断熱等性能等級4

健康・快適な職住環境 (W) Smart Wellness Community 重点項目への取組(5点満点) 【健康・安心】 **4**

■室内環境対策 (⑤外皮性能)

◆断熱等性能等級 等級4 (相当) ※全住戸の断熱性能のレベルの加重平均による

■健康・安心対策 (⑥健康対策 ⑦防犯対策)

ホルムアルデヒド対策等級3

■その他の対策 (⑧自然材料・通風の工夫など)

◆工夫の有無 なし

防災への配慮 (R) Resilience 重点項目への取組(5点満点) 【防災】 **3**

■耐用性・信頼性 (⑯耐震・免震 ⑰部品・部材の耐用年数向上 ⑱信頼性)

劣化等級3

地域・まちづくりへの貢献 (T) Township & Townscape 重点項目への取組(5点満点) 【地域・まちづくり】 **2**

■室外環境(敷地内)対策 (⑳生物環境 ㉑まちなみ・景観 ㉒地域性への配慮)

太陽光発電などの導入

環境配慮技術の導入

(太陽光・熱利用、エネルギーマネジメントシステム以外)

エネルギーマネジメントシステム導入



CASBEE横浜2017年版v.1.7
 (仮称)横浜市鶴見区生麦三丁目新築工事

バージョン CASBEE横浜2017年版v.1.7

スコアシート	実施設計段階		重点項目		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
			<非住宅>	<集合住宅>	評価点	重み係数	評価点	重み係数	
			配慮項目		評価点	重み係数	評価点	重み係数	
Q 建築物の環境品質									
Q1 室内環境									
1 音環境									
1.1 騒音									
1.2 遮音									
1.3 吸音									
2 温熱環境									
2.1 室温制御									
2.2 湿度制御									
2.3 空調方式									
3 光・視環境									
3.1 屋光利用									
3.2 グレア対策									
3.3 照度									
3.4 照明制御									
4 空気質環境									
4.1 発生源対策									
4.2 換気									
4.3 運用管理									
Q2 サービス性能									
1 機能性									
1.1 機能性・使いやすさ									
1.2 心理性・快適性									
1.3 維持管理									
2 耐用性・信頼性									
2.1 耐震・免震									
2.2 部品・部材の耐用年数									
2.4 信頼性									
3 対応性・更新性									
3.1 空間のゆとり									
3.2 荷重のゆとり									
3.3 設備の更新性									

CASBEE[®]横浜 | 評価結果 | 3-025



CASBEE横浜2017年版v.1.7
 (仮称)横浜市鶴見区生麦三丁目新築工事

バージョン CASBEE横浜2017年版v.1.7

スコアシート		実施設計段階		重点項目		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目		<非住宅>	<集合住宅>	評価点	重み係数	評価点	重み係数			
	6	バックアップスペースの確保		3.0	0.20	-	-			-



CASBEE横浜2017年版v.1.7
 (仮称)横浜市鶴見区生妻三丁目新築工事

バージョン CASBEE横浜2017年版v.1.7

スコアシート		実施設計段階		重点項目		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目		<非住宅>	<集合住宅>	評価点	重み係数	評価点	重み係数			
Q3 室外環境(敷地内)				-	0.30	-	-	-	-	2.1
1 生物環境の保全と創出		地域・まちづくり	⑧生物環境の保全と創出	2.0	0.30	-	-	-	-	2.0
2 まちなみ・景観への配慮		地域・まちづくり	⑨まちなみ・景観への配慮	2.0	0.40	-	-	-	-	2.0
3 地域性・アメニティへの配慮				2.5	0.30	-	-	-	-	2.5
3.1 地域性への配慮、快適性の向上		地域・まちづくり	⑩地域性への配慮	2.0	0.50	-	-	-	-	-
3.2 敷地内温熱環境の向上		快適・働きやすさ	⑪敷地内温熱環境の向上	3.0	0.50	-	-	-	-	-
LR 建築物の環境負荷低減性				-	-	-	-	-	-	3.1
LR1 エネルギー				-	0.40	-	-	-	-	3.2
1 建物外皮の熱負荷抑制		省エネルギー性能	①建物の熱負荷抑制	4.0	0.20	-	-	-	-	4.0
2 自然エネルギー利用		省エネルギー性能	②自然エネルギー利用	3.0	0.10	-	-	-	-	3.0
3 設備システムの高効率化		省エネルギー性能	③設備システムの高効率化	3.0	0.50	-	-	-	-	3.0
4 効率的運用				3.0	0.20	-	-	-	-	3.0
	集合住宅以外の評価			-	-	-	-	-	-	-
	4.1 モニタリング	省エネルギー性能	④効率的運用	3.0	-	-	-	-	-	-
	4.2 運用管理体制	省エネルギー性能	④効率的運用	3.0	-	-	-	-	-	-
	集合住宅の評価			3.0	1.00	-	-	-	-	-
	4.1 モニタリング	省エネルギー性能	④効率的運用	3.0	0.50	-	-	-	-	-
	4.2 運用管理体制	省エネルギー性能	④効率的運用	3.0	0.50	-	-	-	-	-
LR2 資源・マテリアル				-	0.30	-	-	-	-	3.2
1 水資源保護				3.4	0.20	-	-	-	-	3.4
1.1 節水				4.0	0.40	-	-	-	-	-
1.2 雨水利用・雑排水等の利用				3.0	0.60	-	-	-	-	-
	1 雨水利用システム導入の有無			3.0	0.70	-	-	-	-	-
	2 雑排水等利用システム導入の有無			3.0	0.30	-	-	-	-	-
2 非再生性資源の使用量削減				3.0	0.60	-	-	-	-	3.0
2.1 材料使用量の削減				3.0	0.10	-	-	-	-	-
2.2 既存建築躯体等の継続使用				3.0	0.20	-	-	-	-	-
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用				3.0	0.20	-	-	-	-	-
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用				1.0	0.20	-	-	-	-	-
2.5 持続可能な森林から産出された木材				3.0	0.10	-	-	-	-	-
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み				5.0	0.20	-	-	-	-	-
3 汚染物質含有材料の使用回避				4.0	0.20	-	-	-	-	4.0
3.1 有害物質を含まない材料の使用				4.0	0.30	-	-	-	-	-
3.2 フロン・ハロンの回避				4.0	0.70	-	-	-	-	-
	1 消火剤			-	-	-	-	-	-	-
	2 発泡剤(断熱材等)			5.0	0.50	-	-	-	-	-
	3 冷媒			3.0	0.50	-	-	-	-	-
LR3 敷地外環境				-	0.30	-	-	-	-	3.0
1 地球温暖化への配慮				3.5	0.33	-	-	-	-	3.5
2 地域環境への配慮				2.5	0.33	-	-	-	-	2.5
2.1 大気汚染防止				3.0	0.25	-	-	-	-	-
2.2 温熱環境悪化の改善				2.0	0.50	-	-	-	-	-
2.3 地域インフラへの負荷抑制				3.0	0.25	-	-	-	-	-
	1 雨水排水負荷低減			3.0	0.25	-	-	-	-	-
	2 汚水処理負荷抑制			3.0	0.25	-	-	-	-	-
	3 交通負荷抑制			3.0	0.25	-	-	-	-	-
	4 廃棄物処理負荷抑制			3.0	0.25	-	-	-	-	-
3 周辺環境への配慮				3.0	0.33	-	-	-	-	3.0
3.1 騒音・振動・悪臭の防止				3.0	0.40	-	-	-	-	-
	1 騒音			3.0	1.00	-	-	-	-	-
	2 振動			-	-	-	-	-	-	-
	3 悪臭			-	-	-	-	-	-	-
3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制				3.0	0.40	-	-	-	-	-
	1 風害の抑制			3.0	0.70	-	-	-	-	-
	2 砂塵の抑制			3.0	-	-	-	-	-	-
	3 日照障害の抑制			3.0	0.30	-	-	-	-	-
3.3 光害の抑制				3.0	0.20	-	-	-	-	-
	1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策			3.0	0.70	-	-	-	-	-
	2 星光の建物外壁による反射光(グレア)への対策			3.0	0.30	-	-	-	-	-
上記以外の重点項目						-	-	-	-	-
<事務用途>						-	-	-	-	-
知的生産性向上への取組		快適・働きやすさ	⑬知的生産性向上への取組	-	-	-	-	-	-	-
<住宅用途>						-	-	-	-	-
健康と安心						-	-	-	-	-
1 化学汚染物質の対策		健康・安心	⑭健康対策	5.0	-	-	-	-	-	-
2 適切な換気計画		健康・安心	⑭健康対策	2.0	-	-	-	-	-	-
3 結露・カビ対策		健康・安心	⑭健康対策	1.0	-	-	-	-	-	-
4 犯罪に備える(共用部の防犯対策)		健康・安心	⑮防犯対策	4.0	-	-	-	-	-	-